

第4回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「地域のビジョンづくり」

日時 令和元年9月14日(土) 10時00分～12時00分

会場 東大寺総合文化センター

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>奈良が良くなってきたと言われることがありますが、これはありがたいことだと思います。しかし、これでいいわけではなく、これまでの歩みを確認して、これから歩むべき道筋を探索する作業が必要となります。これからの奈良について、市町村長も一緒に議論をしませんかというのが、今日の会議の趣旨です。</p> <p>まず、これまでの奈良県の立ち位置ですが、奈良県では急速な人口減少や高齢化が進むとともに、県外就業率も全国トップクラスであり、成熟したベッドタウンにおける諸課題が発生している状況です。</p> <p>こういった諸課題にどう対処して住み心地のいいまちづくりをつくるかをメインテーマに県では取組を進めています。</p> <p>例えば、企業誘致は好調ですが、産業用地が不足しています。産業用地の確保に努め、県内企業が効果的に連携できるよう計画的な産業集積を目指します。</p> <p>また、奈良県はホテル客室数が全国最下位でしたが、大型コンベンション施設と上質なホテルの開業による賑わいづくりや、奈良監獄刑務所跡地のホテル、猿沢インなど宿泊施設の定着に結びつけていく活動をしています。</p> <p>また、令和3年度中になら歴史芸術文化村が開村予定です。地域の振興、芸術文化の振興のプログラムを作っていこうと会議を重ねています。</p> <p>ここでお示ししている奈良新『都』づくり戦略(案)は、奈良発展の目標と道筋について、県民の皆様と議論を深めるためのたたき台です。今後、このような議論を行い、県民の皆様からご意見をいただいて、さらに戦略を進化させたいと思っています。</p>

資料説明	仲川奈良市長
	<p>奈良市では、2030年に後期高齢者数がピークを迎え、その後も当面20年間減少しない状況が予想されています。転出超過となっている20～30歳代の方々を奈良に引きとめるために、「子育て支援」と、「仕事のミスマッチの解消」が重要だと考えています。</p> <p>その中で、(仮称)子どもセンターの設置を計画しており、児童虐待の対応だけでなく、子育て支援の観点も含めて、一体的に取り組んでいこうと考えています。</p> <p>また、スター起業家を育てるため、立ち上げ時の相談はもちろん、立ち上げた後のスケールアップをしていくための具体的な支援に取り組んでおり、起業家同士で互いに協力・連携を図るという状況にも繋がっています。</p>

資料説明	並河天理市長
<p>天理市では、人口減少、少子高齢化が進む中で、持続可能な形できめ細やかな行政サービスをどう作るかが課題となっています。</p> <p>小学校区に一つないし二つある公民館を市民のニーズに応えられるコミュニティの拠点と捉え、放課後の学ぶ場やこども食堂などにも活用しています。また、公民館の敷地を利用したコープによる移動販売なども好評です。</p> <p>既存施設を地域課題を解決するために民間のパートナーと一緒にどう活用していけるかが非常に大事だと思います。使い道を固定的に捉えるのではなく、どうすれば活かすことができるのか、地域の皆様とともに柔軟な活用方法を検討し、地域の活性化につなげていきたいと思っています。</p>	

資料説明	吉田香芝市長
<p>香芝市は、奈良県トップの出生率で、住宅都市として成長して参りました。全国的な人口減少の波は香芝市にも迫っております。まちをさらに進化させていくために、①暮らしを守る、②共に育てる、③新たな価値を創造する。この3つを「めざす将来像」として考えております。</p> <p>①では、受動喫煙防止条例制定による環境改善、無電柱化、企業立地に繋がる道路の整備、②では、認定こども園の整備や多様な保育サービスの充実、③では、創業支援・促進のための補助金創設やセミナーの開催などに取り組んでいます。</p> <p>今後さらに、広域化や民間活力、ICT・AIの活用などにより、付加価値の高いまちづくりを推進していきたいと考えています。</p>	

資料説明	森中山添村長
<p>山添村では、希望を育むプロジェクトとして、①安心・安全なむらづくり、②資源を活かしたむらづくり、③誰もが健康的なむらづくり、④子育てしやすいむらづくり、⑤次代を担うひとづくりに取り組んでいます。</p> <p>具体的には、高齢者の自動車事故防止のため、急発進防止装置の普及を促す補助金の予算化や、近隣市町村への通学補助、教育のICT化、コミュニティナースの取組などを行っています。</p> <p>今後も、これまでの総合計画のような行政主導型の計画ではなく、若い人に村の良いところ、悪いところを検証していただいて住民が住みやすい村にしていこうと考えています。</p>	

資料説明	竹村川西町長
<p>川西町では、県内主要道路が交差する利便性の高い町であるという特徴を活かして新しい人の流れをつくるため、①近鉄結崎駅周辺整備事業、②工業ゾーン創出事業に取り組んでいます。</p> <p>①では、「住民みんなが主役の座をつくる」をコンセプトに安全性を確保しつつ、賑わいの創出を目指します。また、②では、企業の注目度が高い地域にも関わらず、産業用地が不足していたため、新たな産業用地を創出し、町内雇用の増加による歳出抑制、地域経済活性化による歳入の増加を目指します。</p> <p>このような取組を通して、まち・ひと・しごとが力を合わせることで川西町はもっと元気な地域になると考えています。</p>	

資料説明	森田三宅町長
<p>三宅町は、都市部や田舎に行くにも、ちょうど良い場所にあるのが特徴です。県内どこで働いても、子育てしやすく、働く方々が住みよいまちを目指していきたいと考えています。</p> <p>出産応援として、第一子は2万円、第二子は3万円、第三子は10万円分のおむつやミルクなどを出産祝いとしてプレゼントしたり、学童保育を県内最安値で実施しています。また、役場前に複合施設の建設を予定しておりを建設しており、住民の皆さまのやりたいことを叶えていける施設にしたいと考えています。</p> <p>今後も、三宅町のファンを増やしながら、楽しいまちづくりを進めたいと考えています。</p>	